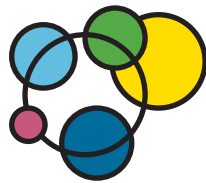


そわにえ Soigner



第14号

「Soigner (ソワニエ)」とは、「世話をする・手当てする」という意味のフランス語です。

2008年7月15日発行

発行/東京訪問看護ステーション協議会 (責任者 森山弘子)

〒162-0815 東京都新宿区筑土八幡町4-17

社団法人東京都看護協会内

TEL: 03-5229-1534・1520 / FAX: 03-5229-1524

INDEX /	ステーション紹介…⑥
さんぼみち……………①	エッセイ……………⑦
協議会総会報告……………②	委員会報告……………⑦
看護フェスタ……………④	編集後記他……………⑧



絵: 青木博昭くん

生きるということ

東京都医師会副会長 清水美津子



他分野融合型連携をめざしてとの副題のついた、「在宅医療実践ガイドブック」が東京都から発行されたが、第一部が漫画で具体的に、在宅医療について解説されている画期的な本である。作成委員会のメンバーを見てみると、医療と介護職に携わるさまざまな職種の方々の在宅医療に対する熱いところが、この本を完成させたのだなと感じる。第二部は在宅医療マニュアルとなっている。その第3章に終末期の支援の中で、死の看取りについて書かれている。筆者の人生観、思いがそして願いが込められているように感じた。私が小さい時には死は身近なものであり、家族や地域の中での死であった。曾祖父、祖父から死とはということを経り物として頂いたような気がする。死の教育を周りの大人から自然に受けていたのである。即ち死の贈り物として「生きるということの意味」を学んでいたのだと感じている。最近の悲惨な事件を起こす若い人たちがもう少し「死の教育」を受けていたら、もしかしたら防ぐことが出来たのではと考えたりする。

中学、高校の同級生で看護師の親友がいる。彼女は病院の看護師としての看取りに疑問と限界を感じ、「私たちが子供のころ祖父母を看取ったような在宅での介護が出来ないのか」と、在宅介護研究所を立ち上げた。在宅医療について、医療の心を彼女から多く学んでいる。皮膚科は死に直接関与することが少ない科であるが、外来診療の場で介護を受けている方々、介護している方々の声を聞き、医師会という組織を通して何か出来ることがあるのではと、地区医師会長時代に顔の見える連携をと働きかけたが、言うは易く実を結ぶのはもう少し時間がかかりそうであるが着実に前進している。

亡くなられた臨床心理学の河合隼雄先生の「医療と心」という著書の中に、入院中の患者さんが先生に言った言葉で、「あの看護婦さんいいでしょう」と言うので、「どうして」と聞いたら「あの看護婦さんは、心も身体も一緒に入って来るんですよ」と言ったと書いておられた。もう一度噛み締めたい言葉である。



第4回東京訪問看護ステーション協議会総会報告

平成20年度（第4回）

東京訪問看護ステーション協議会総会報告

日時：平成20年4月23日（水）14時～17時

〈平成20年度事業報告〉

平成20年度の診療報酬改定において我々の要望が反映されました。平成21年度は介護報酬の改定の年です。改定にむけて現場からの意見を集約し要望していきます。

近年、訪問看護ステーション（以下STと略す）に対する期待が拡大する中で小規模事業所であるが為の限界を克服し、在宅看護の充実と達成感のもてる活動をするための方策を見つけなくてはなりません。

我々が専門性を発揮し、より良い地域活動に結びつけるためにも、当協議会の会員を増やし、気持ちを一つにし、共に頑張りましょう。尚、総務会及び各委員会の報告については、総会資料をご参照下さい。



森山会長



玉木理事

〈記念講演〉

総会終了後、『訪問看護の未来』グランドデザインを語るというテーマで記念講演会が開催されました。ご講演いただいたのは、全国訪問看護事業協会理事・山田雅子先生、日本訪問看護振興財団常務理事・佐藤美穂子先生、日本看護協会副会長・古橋美智子先生です。私達訪問看護師の大きな団体の代表者が集結し、訪問看護の近未来について熱く語っていただきました。

最初に山田先生には、統計資料を元に、「訪問看護師の不足」「小規模ステーションの零細経営が全体の5割」など厳しい経営現実をお話していただきました。

佐藤美穂子先生は、2018年に向けた戦略として、①訪問



古橋美智子先生



佐藤美穂子先生



山田雅子先生

看護サービスの均てん化、②訪問看護の量的確保と経営の安定化、③在宅訪問看護サービスの拠点化と他職種協働の推進と、各訪問看護団体が協力して行政に対し提言をしていくと、積極的な展望をいただきました。

最後に古橋美智子副会長からは、行政へ向けて①訪問看護の医療計画上の位置付けの明確化、②看護師需給見直しにおける訪問看護部門の扱いの明確化、③訪問看護推進事業の見直しなど、在宅医療を支える主軸として訪問看護を評価し広げようと、力強いエールを送っていただきました。

先生方のお話から私たちも、元氣と将来への光をいただき、「がんばろう！きっと実るよ。私たちの願い。」と、感激深いご講演でした。

「未来は、私たちが創る」ものです。訪問看護という仕事に誇りを持ち、希望に向かい進んでいきましょう。



ご講演いただいた先生方と司会進行の佐々木静枝さん



活発な発言が
交わされた
質疑応答

総会が終了し
ホッと一息の
役員たち

平成20年度 東京訪問看護ステーション役員名簿

〈〉内はブロック番号

役職	氏名	職名	ブロック
顧問	鈴木 聡男	社団法人東京都医師会会長	
顧問	川越 博美	聖路加看護大学／※ 訪問看護パリアン	
会長	森山 弘子	社団法人東京都看護協会（会長）	
副会長	清水美津子	社団法人東京都医師会（副会長）	
副会長	吉村 知子	社団法人東京都看護協会（専務理事）	
副会長	阿部 智子	訪問看護ステーションけせら（管理者）	
理事	玉木 一弘	社団法人東京都医師会（理事）	
理事	宮崎和加子	医療法人社団健和会（看護介護政策研究所所長）	
理事	佐々木静枝	世田谷区社会福祉事業団（訪問看護統括）	
理事	天木 弘子	上野訪問看護ステーション（管理者）	中央B〈1〉
理事	国分加寿美	蒲田医師会立訪問看護ステーション（管理者）	城南B〈2〉
理事	広川 直美	ナースステーション東京目黒支店（管理者）	城西南B〈3〉
理事	徳江 幸代	中野区医師会立なかの訪問看護ステーション（管理者）	城西B〈4〉
理事	杉田美佐子	こもね訪問看護リハビリステーション（管理者）	城北B〈5〉
理事	木戸 恵子	訪問看護ステーションステラ（管理者）	城東北B〈6〉
理事	椎名美恵子	訪問看護ステーションみけ（管理者）	城東B〈7〉
理事	北浦利恵子	訪問看護ステーションファミリー（管理者）	西多摩B〈8〉
理事	城所シズ子	八王子市医師会立元八王子訪問看護ステーション（管理者）	南多摩B〈9〉
理事	伊藤 文子	調布市医師会訪問看護ステーション（所長）	北多摩南B〈10〉
理事	小野 弘子	緑成会訪問看護ステーション（所長）	北多摩西B〈11〉
監事	山田 京子	浅草医師会立訪問看護ステーション（所長）	
監事	笠原ケサエ	元東京都看護協会 千駄木訪問看護ステーション（所長）	

各委員会名簿

☆は委員長、〈〉内はブロック番号

会名	氏名	施設名	ブロック	会名	氏名	施設名	ブロック
総務会	川越 博美	聖路加看護大学／訪問看護パリアン	顧問	広報	天木 弘子☆	上野ST	中央B理事〈1〉
	森山 弘子	東京都看護協会	会長		椎名美恵子	STみけ	城東B理事〈7〉
	阿部 智子	STけせら	副会長		杉田美佐子	こもねリハビリST	城北B理事〈5〉
	吉村 知子	東京都看護協会	副会長		鶴沢喜恵子	STコスモス	中央
	玉木 一弘	東京都医師会	理事		山中 恵子	野崎クリニックST	城西
	佐々木静枝	世田谷区社会福祉事業団	理事		廣瀬 祐子	墨田中央病院ST	城東
	宮崎和加子	健和会看護介護政策研究所	理事		徳江 幸代☆	中野医師会立なかのST	城西B理事〈4〉
	国分加寿美☆	蒲田医師会ST	訪問看護推進委員長		広川 直美	ナースST東京目黒	城西南B理事〈3〉
	天木 弘子☆	上野ST	広報委員長		荻原美智恵	自由が丘ST	城西南
訪問看護推進	徳江 幸代☆	中野医師会立なかのST	研修委員長	ブロック支援	安村 伸子	福生会ST	北多摩西
	城所シズ子☆	元八王子ST	ブロック支援委員長		加藤 公恵	STひばり	南多摩
	国分加寿美☆	蒲田医師会ST	城南B理事〈2〉		宮路由美子	千駄木ST	中央
	吉村 知子	東京都看護協会	副会長		城所シズ子☆	元八王子ST	南多摩B理事〈9〉
	平野 智子	STコスモス	中央		松永 直子	神田ST	中央
	伊藤 文子	調布市医師会ST	北多摩南B理事〈10〉		小野 弘子	緑成会ST	北多摩西B理事〈11〉
	吉田 廣子	板橋ロイヤルST	城北		田中 恭子	武蔵野赤十字ST	北多摩南
	吉富 洋子	くくむ岩本町ST	中央		木戸 恵子	STステラ	城東北B理事〈6〉
	松井 知子	STさぎそう	城西南		北浦利恵子	STファミリー	西多摩B理事〈8〉

看護フェスタ開催

フローレンスナイチンゲール女史の誕生日を「看護の日」とし、今年も5月10日に「看護フェスタ」が開催されました。私たち東京訪問看護ステーション協議会でもブースを設け、訪問看護を一般市民にアピールしました。会場の新宿駅西口のイベント広場は、小雨の降るあいにくのお天気でしたが、さすが新宿だけあって、多くの一般都民で賑わいました。森山会長の指揮のもと、順天堂医院の有志によるアカペラソングで始まり、健康に関心の高い多くの人々が開始時間前から訪れました。

当日の来場者は1,250名、このイベントに協力した東京都看護協会の看護職の有志は56名でした。当協議会からは、推進委員、ブロック支援委員、



左上：順天堂医院の有志によるアカペラソング
左中：どのブースも列が出来て、大忙しのエプロン看護師たち
左下：受付前にもすでに行列

右上：森山会長の号令でさあ始めます!!
右中：認知症予防にもなるお手玉
右下：AEDのレクチャー

大人気だったフットマッサージ 足の爪にトラブルがある方もいました。



広報委員からと、フットマッサージの要員でもあるセラピストが6名（すべて当協議会会員の有志の訪問看護師）揃い、総勢16名で頑張りました。中でも好評だったのがやはりアロマオイルを使ったフットマッサージで、希望者が殺到し対応に困る程でした。予定人数（30名）をオーバーしても準備したホットタオルがある限り、40名以上の方に体験をして頂きました。訪問看護の利用方法や、どういった人が利用出来るのか？現在受けているサービスについての相談など20名以上の方からの相談にも対応しました。

パネル展示したものを興味深く読まれる方もいました。まだまだ一般都民の方には、「介護と看護」がごちゃ混ぜになっているようです。健康に関心が強い方々に、私たち看護職がこれほどまでに役立つことが出来たという満足感に浸れた一日でした。次は7月13日に池袋サンシャインシティで開催される「看護職のための就業フェア」があります。そこでもまた、「訪問看護」のPRが続きます。



大盛況だったアロマのセラピストの皆さん、本当にお疲れさまでした。

みんなで仲良くやれて結構楽しかったです。



Working for a healthier world™
より健康な世界の実現のために

「より健康な世界の実現のために」…この新しいスローガンは「予防」「ウェルネス」そして「生涯を通じての健康」に対する、私たちの世界中での取組みを表現しています。日々の生活の中で、この「より健康な世界」をより身近なものにするために、あなたにもできることがあります。たとえば毎日のちょっとした工夫で運動不足を解消するよう心掛けたり、食生活に細やかに気を配ったりというようなことです。そんなあなたと一緒に「より健康な世界」の実現を目指して、私たちファイザーは、これから世界の医療の最前線と連携を図りながら、新薬の研究や開発に力を注ぎ続けます。

ファイザー株式会社 www.pfizer.co.jp

「医療依存度の高い方への訪問看護」

Y・Oさん
70歳
筋萎縮性側索硬化症(ALS)

Y・Oさんはタクシーのドライバーとして長年お仕事をしていました。お休みの日には奥様と一緒に旅行に出かけるのが楽しみとなっています。そんなY・Oさんが身体の不調を訴え病院へ診察に行きましたところ、筋萎縮性側索硬化症「ALS」と診断されました。2003年8月のことです。聞きなれない難病という不治の病に驚きと不安がいつぱいとなりました。初めの病院では、この病気が治らないといわれ、月1回の診察を受けるだけの日々を過ごしていました。セカンドオピニオンとして脳神経専門の病院を受診しましたが、診断名はやはり「ALS」との診断でした。

この頃のY・Oさんは歩行もでき、奥様と外出をしていました。また、毎日の散歩が日課となっていました。嚥下障害と筋力の低下が徐々に始まり、呼吸機能の変化も見え始めました。

訪問看護が開始されたのは2004年3月の頃になります。嚥下障害が始まって、唾の飲み込みが悪くなり、いつもタオルを口にくわえるようになりました。また、ポータブルの吸引機器を借りて自分で口腔内の唾液を吸引するという状態に変化してきました。時々呼吸苦となり、救急車で病院へ搬送されることもありました。

Y・Oさんは延命装置の拒否を続けていましたが、呼吸苦が繰り返し起こるようになり、2005年2月気管支切開し



Y・Oさんが人工呼吸器をついてはじめて外出したのです。桜咲くころに自宅付近まで外出しました。訪問看護、訪問リハビリ、ヘルパー1の協力を要しました。

人工呼吸器装着となりました。

退院時は地域でサポートする体制を組み保健所、専門病院、地域主治医、訪問看護、訪問リハビリ、訪問入浴、ホームヘルパー、吸引機器貸与看護師、専門病院在宅支援、ケアマネージャー、など医療・福祉の連携で在宅療養が開始となりました。24時間の介護が始まり、奥様は慣れない吸引から経管栄養の注入など日々の介護に追われるようになりました。7日間の療養計画の中、訪問看護を中心とした計画が作られました。

Y・Oさんのように医療依存度の高い利用者は頻回な訪問看護の提供が必要になります。また、家族への介護指導や精神的サポート、介護負担の軽減など多岐にわたる看護の役割が期待されます。医療的な処置が多い方の在宅療養は訪問看護が病院での看護師同様の対応をし、また、在宅での生活の支えとなる福祉と連携し24時間365日を支えています。

「医療と看護と福祉の連携」

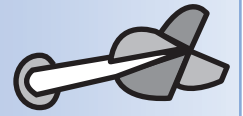
が在宅療養では強く求められるのではないのでしょうか。

奥様のコメント

おとうさんは「ご飯が食べたい」と良く言っていましたので、亡くなった今でも、毎日食事を作ってお供えています。「たくさんの人に支えてもらって、おとうさんは幸せだった」と思います。

(調布市医師会訪問看護ステーション)

イベント用に作成したパネルの1枚。



ステーション紹介

ナースステーション東京 目黒支店

平 成15年8月にこの目黒区に開設をし、早いもので5周年を迎えようとしています。この間、順調にスタッフも増え、現在では8名の看護師、5名の理学療法士、1名の作業療法士、2名の専任在宅介護支援専門員、1名の事務スタッフで約200名の方々にご利用いただいております。自転車で昼夜問わず！？目黒区、港区、渋谷区、品川区、世田谷区の5区を訪問し、悪戦苦闘（体力的に！）の日々を過ごしています。地域柄社会的に地位の高い方なども多いので、「田舎者」の私たちはそんな意味でも悪戦苦闘の日々です（笑）。



事務所11階からの風景。夜は東京タワーのライトアップが綺麗です！

さ て、私たちのステーションの特徴の一つは、ターミナルケア、自宅での看取りを積極的に行っていることです。チームで年間25件程の方々のお手伝いをさせていただいています。2週間に一度は看取りがある計算になりますね！上を見ればきりがありませんが、頑張っているほうではないでしょうか？私たちの出来る限り、精一杯のケアを提供させていただきながら勉強の日々で、人としても豊かになり、ありがたいことですよね。

三 つ目は、様々な状況の方をお受けするようにしていることです。小児や難病、精神疾患等多岐に亘ります。当社は全体で4つの訪問看護ステーションを持っているため、得意な分野のスタッフに相談、指導を受けながら対応をするようにし、「一人じゃない！」と思えるような体制を取る事を心がけています。そして、新しいことも怖がらずに、積極的に経験を重ねられるように！日々成長です。

三 つ目は、「ほんのちょっとのお節介！？」退院前訪問はもちろん主治医の先生、在宅介護支援専門員、訪問介護員の方などに積極的に会いに行き情報交換を立ち話

してもすることです。ご利用いただいている方にも、心配なときは実績にせすとも移動の途中に極々短時間訪問をしたりもします。

会 社全体としては、研修に積極的！昨年は写真のようにオーストラリアのシドニーへ「認知症ケア」を学びに行きました。全て会社持ちでした。私は社長の鞆持ち！？でもありました。国々の情勢の違いはあるものの、人への関わりは何処にいても同じであること。家族の思いも同じだということを痛感した研修でした。そして、やる気になれば「仕事も休める！」ことも実感した研修でした。これもひとえにスタッフのお陰様！感謝ですね！

最 後に訪問看護の辛さばかりでなく、楽しさや豊かさをもっともっと沢山の皆さんに知っていただき仲間を増やしたいですね！そして、「こんなことも出来る！」「あんなことも出来る！」という喜びを地域の仲間達と微力ながら発信していきたいと思っています。さあ～明日からも頑張りましょうね！



シドニーのハモンドケアのハモンドビレッジ見学時の写真。男性は、認知症ユニットケアの先駆者・リチャード・フレミング氏。他、当社代表・内田（左から4人目）、広川（その左）はじめ当社スタッフと他社の参加者です。

今回で協力いただいたステーション

(株)日本在宅ケア教育研究所

ナースステーション東京 目黒支店
マイ・ケアプランセンター東京 目黒支店

所長 広川直美

〒153-0064 東京都目黒区目黒2-12-10-A1103

TEL 03-5724-7431/2 FAX 03-3792-2822

E-mail: meguro@zaitakucare.co.jp

URL: <http://www.zaitakucare.co.jp>

その人らしさを支える看護をめざして

最近、医療費の高騰・高齢化社会・介護力不足等の報道が多く聞かれます。最短期間の入院治療のあと、訪問看護へ移行してくる状況も以前とはちょっと変わって来ていると感じています。都内高齢化率1位の地域にある私たちの訪問看護ステーションのご利用者さんは、障害や病気を抱えながら高齢の両親を介護する方、1日のほとんどを一人で心細く過ごす単身の療養者の方が多くいます。次にご紹介する方たちもこのような中、頑張りながら生活しています。



長男の帰りを一人で待ち続ける 認知症のAさん

Aさんは80歳の認知症の在宅酸素療法中の方です。息子と2人暮らし、介護保険を利用しながらも、息子が生活の殆どを支え在宅療養を続けていく中、息子が脳梗塞で重度の障害を負い、また大腸癌も見つかり手術を受けることになりました。他の身内もないので当然一人暮らしは無理。どこかに入院か入所かカンファレンスをする、Aさんは「私がいなくなると息子の家がなくなるから待つ。きっと帰ってくるから」とはっきりとした意思を話されました。それから3ヶ月過ぎましたが、息子さんの話をすると泣いてしまい、「顔をみると辛いから」とお見舞いにも行かず、それでも家を守らなくてはとぎりぎりの精神状態で今も療養を続けています。



最期までこの町で生きていたい と願う難病のBさん

50歳代のBさんはALSの一人暮らしの男性です。Bさんが希望したことは、愛するこの町で最期まで生きること。Bさんは急激に進行する症状にも弱音を吐かず、様々な工夫をして生活しました。しかし、病魔はBさんの身体を蝕み、1年足らずで寝返りも困難になったのです。

私たちは、あらゆる社会制度を駆使し支えていきましたが、結局最期までBさんをこの町で支えることは出来ませんでした。

現在、ALSに関しては制度が見直され、少しずつ社会資源の幅が広がりつつありますが、Bさんのような一人暮らしの方が最期まで在宅療養を続けるには、まだまだいくつものハードルがあるように感じます。

「病気や障害があってもその人が望む場所で安心して過ごして欲しい」と私たちは強く願います。その人らしく過ごせるためには、多様な疾患や医療にも対応出来るステーション全体のスキル向上、退院連携、他職種との連携の大切さを痛感します。そして、ご利用者さんやご家族の声を形にして社会にメッセージとして発信していくことが大切だと思います。ご利用者さんの笑顔や「来てもらって良かった」という言葉を原動力にして、私たちも笑顔で頑張りましょう。明るい未来があることを願って、その人らしさを支える看護を続けましょう。

(訪問看護ステーションコスモス 鶴沢/平野)

From the Committee



各委員会からの報告



東京都の福祉保険局高齢社会対策部から、訪問看護ステーション支援事業として「管理者支援研修プログラム」が当協議会に委託されることになりました。今後ますます重要度を増す在宅医療、訪問看護ステーションは、大きな役割が期待されているにもかかわらず看護師不足で減少傾向にあります。その打開策として、管理

者がビジョンを持ってマネジメント業務が効率的に当たれるよう、管理者支援のプログラムを作成することになり、700万円が予算化されました。総務会で阿部智子副会長がリーダーとなり、川越博美顧問、宮崎和加子理事、佐々木静枝理事が方策を練ることになりました。皆さんも今後の展開にご期待下さい。



全国の訪問看護ステーションを行脚中の川越博美先生（聖路加看護大学教授）と宮崎和加子先生（健和会看護介護政策研究所所長）のお二人を招いて、講演会と懇親会を行います。全国地方の訪問看護の実情と頑張っている仲間の様子が分かると思います。また、東京での仲間同士の情報交換と熱い思いの討論も期待出来ます。会場の余裕があれば当日でも参加可能です。ぜひ、事務局にご連絡下さい。

テーマ：「訪問看護の来た道・行く道」

日時：平成20年8月23日（土）14:00～18:30（受付13:00）

場所：【第一部講演会】

東京都看護協会会館 2階 サークル室（定員150名）

【第二部懇親会】

東京都看護協会会館 1階 交流室（定員20名）

講師：宮崎和加子先生（健和会看護介護政策研究所所長、訪問看護ステーション部顧問）

川越博美先生（聖路加看護大学臨床教授、バリアン在宅ホスピス研修センター）

▶▶ 投稿募集

「そわにえ」は、訪問看護師による手作りの会報誌です。日々の仕事で感じた楽しかったこと、つらかったこと、感動したこと……、何でも構いませんのでお気軽にご投稿下さい。また、「みんなはどうしているのか知りたい」とか、「うちはこんな時こうしたらうまくいった!」といった情報もぜひお寄せ下さい。

表紙になる写真やイラスト、「ダーツの旅」へ掲載希望のステーションも大募集しています。また、広告を掲載していただける企業をご存じの方、ご紹介いただけたら幸いです。

次回秋号の発行は10月半ばの予定です。おたのしみに。

▶▶ 会員募集

東京訪問看護ステーション協議会は、都内で活動している訪問看護ステーションの訪問看護師たちを支援していきます。ご入会を心よりお待ちしております。

6月30日現在の会員数

継続会員 269st 新規会員 14st 合計 283st

【連絡先】〒162-0815 東京都新宿区筑土八幡町4-17
東京都看護協会内 TEL 03-5229-1534

投稿、広告につきましては、fresca@r3.dion.ne.jp ステーションみけ・椎名までお問い合わせ下さい。

「未来は、私たちが創る」

東京訪問看護ステーション協議会

平成20年度
スロニガン

暑い日差しのなか訪問看護には辛い季節ですね。この時期熱中症の方の緊急訪問が多くなり、昨年も一日に何件も炎天下の中訪問したのを思い出します。自転車を漕ぎ、エゴにも一役かっている私達にとって体力勝負の季節です。今年は猛暑にならないよう祈りたいですね。

さて、先日協議会のブロック会に参加してきました。各ステーションで看護師のスキルアップやモチベーションアップのための勉強会を計画し、今年の活動として動き出しています。今私達になにが必要か……限りある社会資源のなかで何が出来るか……忙しい訪問の中でも一歩立ち止まり、日頃の学び等振り返る余裕が欲しいですね。でも現実には厳しく訪問看護を待っている方にすぐにはいけないマンパワー不足がこのstでも聞かれました。看護フェスタや看護職の就業フェアを通し 訪問看護をどんどんアピールしていき、一人でも多くの方に魅力を知って頂きたいですね。

広報委員もそわにえを通して、頑張っていきたいと思えます。皆様の投稿をお待ちしております。

(訪問看護ステーション コスモス 鶴澤喜恵子)

PocketNavi 急変・症状に対する看護の流れをナビゲートするアルゴリズムは必見!

呼吸器看護 ポケットナビ



監修 ● 近藤達也
(元国立国際医療センター)
森山節子
(元国立国際医療センター)
編集 ● 吉澤篤人
(国立国際医療センター臨牀呼吸器科)
穴沢小百合
(国立国際医療センター)

新書判並製/ビニールカバー/232頁
定価1,680円(本体1,600円+税) ISBN978-4-521-73036-3

脳神経看護 ポケットナビ



監修 ● 落合慈之
(NTT東日本関東病院)
坂本すが
(NTT東日本関東病院
東京医療保健大学医療保健学部)
編集 ● 森田明夫
(NTT東日本関東病院脳神経外科
同脳卒中センター)
磯田礼子
(NTT東日本関東病院看護部)

新書判並製/ビニールカバー/216頁
定価1,575円(本体1,500円+税) ISBN978-4-521-60341-4

循環器看護 ポケットナビ

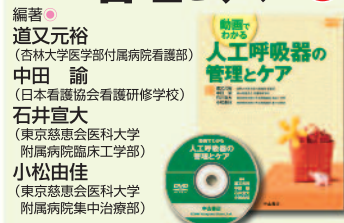


監修 ● 住吉徹哉
(榊原記念病院
榊原記念クリニック)
編集 ● 井口信雄
(榊原記念病院循環器内科)
三浦雅郁子
(榊原記念病院看護部)

新書判並製/ビニールカバー/224頁
定価1,575円(本体1,500円+税) ISBN978-4-521-60331-5

読んでわかる! 見てわかる! 抜群のコストパフォーマンス

動画でわかる 人工呼吸器の 管理とケア DVD付



B5変型判並製/160頁/DVD(約100分の動画収録)
定価3,990円(本体3,800円+税) ISBN978-4-521-73004-2

中山書店 〒113-8666 東京都文京区白山1-25-14 フリーダイヤルTel.0120-377-883 フリーダイヤルFax.0120-381-306 <http://www.nakayamashoten.co.jp/>

健康睡眠 メディカルショップ 六本木店

見られる。試せる。相談できる。

最新情報の紹介から公的制度利用の相談まで、
看護師・専門のアドバイザーが丁寧に対応。
最先端の健康サロンとしてお気軽にご来店ください。

〒106-0032 東京都港区六本木 4-1-16
六本木ハイツ 1F
TEL.03-5575-2180



営業時間 AM11:00 ~ PM7:00
定休日 毎週水曜日・年末年始

フランスベッド メディカルサービス
<http://www.homecare.ne.jp/>